

2023年6月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社エンビプロ・ホールディングス
(証券コード : 5698)

2023年5月12日

目次

1. 第3四半期 決算概要

2. 2023年6月期 見通し

3. 参考資料

連結業績

売上高	35,363百万円	（前年同期比	12.9%減）
営業利益	1,228百万円	（前年同期比	46.7%減）
経常利益	1,509百万円	（前年同期比	45.4%減）
四半期純利益*	1,017百万円	（前年同期比	48.5%減）

主要TOPICS

- 中国のゼロコロナ政策、欧州のエネルギー危機等により世界粗鋼生産量は前年同期で減少
- 鉄スクラップの期中平均価格（東京製鐵田原海上特級価格）は48,990円/ t（前年同期53,735円/ t）
- コバルト、リチウムの平均価格は前年同期を下回るが、ニッケル、銅の価格は前年同期を上回って推移
- エネルギー価格上昇による電力費の増加、急激な円高による為替差損の発生
- 日東化工株式会社の連結子会社化（資源循環事業：ゴム・樹脂製品製造、3Q期間にB/Sのみ連結）
- 三菱マテリアル株式会社との湿式製錬事業の共同開発が進捗
- 新工場の進捗
 - ・ 資源循環事業：新工場建屋が2022年9月に竣工（静岡県富士市、2023年2月一部稼働）
 - ・ リチウムイオン電池リサイクル事業：新工場が2022年10月に稼働（静岡県富士市）

：2024年4月稼働目標に新工場用土地・建物を取得（茨城県ひたちなか市）

*四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益
（金額、数量は切り捨て表示；%は四捨五入表示）

決算概要▶第3四半期 連結損益計算書概要



(単位：百万円)

	2022年6月期 第3四半期累計	2023年6月期 第3四半期累計		
	実績	実績	前年同期比	
			増減額	増減率
取扱量 (千 t)	514	452	▲62	▲12.1%
売上高	40,615	35,363	▲5,252	▲12.9%
売上総利益	7,539	6,330	▲1,209	▲16.0%
営業利益	2,306	1,228	▲1,077	▲46.7%
経常利益	2,767	1,509	▲1,257	▲45.4%
税金等調整前四半期純利益	2,781	1,470	▲1,311	▲47.1%
四半期純利益*	1,973	1,017	▲956	▲48.5%
限界利益*	6,992	6,228	▲764	▲10.9%
EBITDA*	2,821	1,855	▲966	▲34.2%
純粹固定費*	4,594	5,093	498	10.8%

*四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

*限界利益 = 売上高 - 変動費

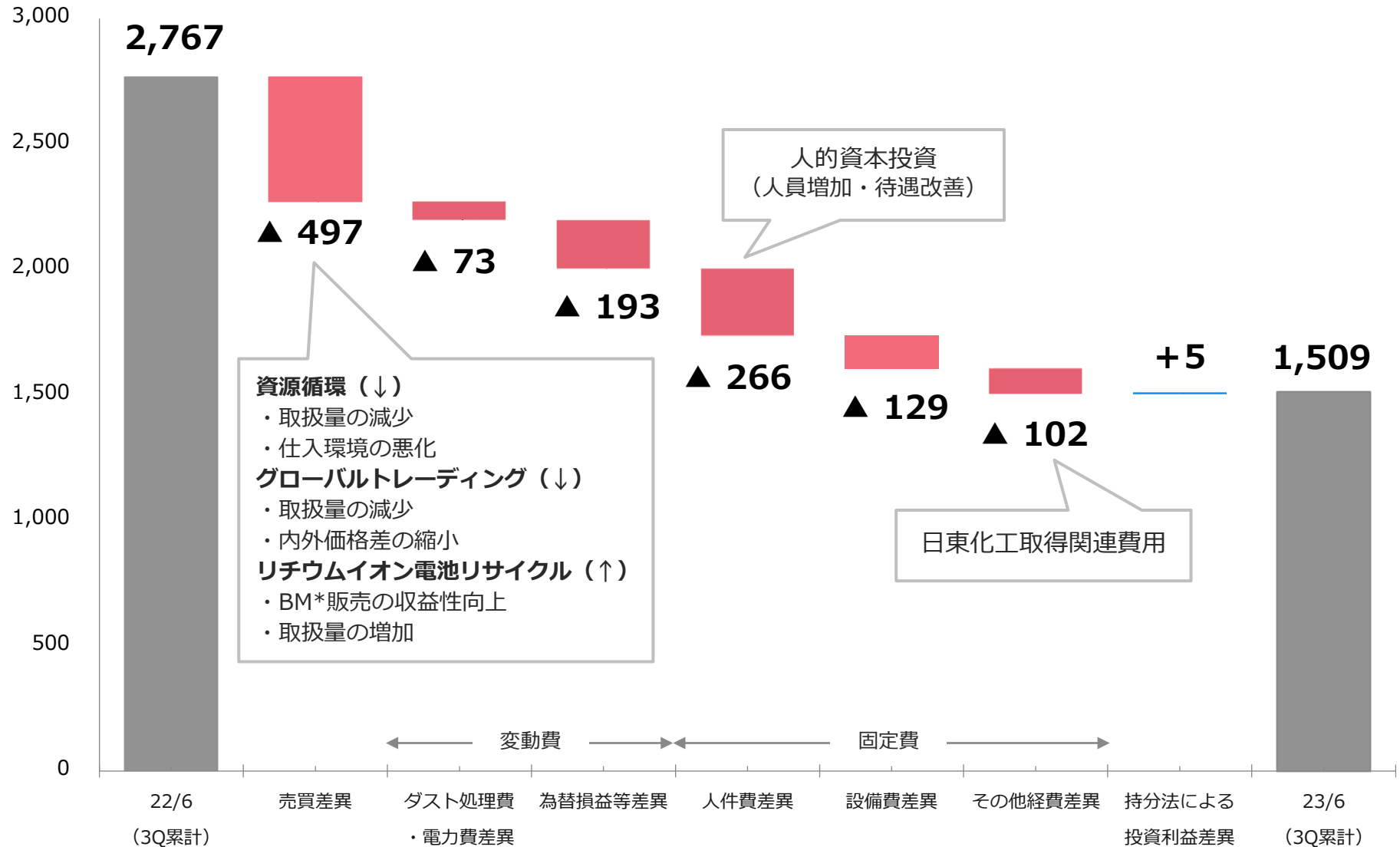
*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

*純粹固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

決算概要 ▶ 連結経常利益差異分析（前年同期比）



（単位：百万円）



*BM（ブラックマス）：リチウムイオン電池を放電・乾燥・破碎・選別したリチウム、コバルト、ニッケルの濃縮滓

決算概要▶セグメント別業績概要



(単位：百万円)

売上高	2022年6月期 第3四半期累計	2023年6月期 第3四半期累計			
	実績	実績	前年同期比		構成比
			増減額	増減率	
連結	40,615	35,363	▲5,252	▲12.9%	100.0%
資源循環事業	15,022	13,226	▲1,795	▲12.0%	33.2%
グローバルトレーディング事業	29,977	24,876	▲5,100	▲17.0%	62.6%
リチウムイオン電池リサイクル事業	785	1,301	516	65.7%	3.3%
その他	367	353	▲13	▲3.8%	0.9%
調整額	▲5,537	▲4,395	1,142	-	-

セグメント利益	2022年6月期 第3四半期累計	2023年6月期 第3四半期累計			
	実績	実績	前年同期比		構成比
			増減額	増減率	
連結	2,767	1,509	▲1,257	▲45.4%	100.0%
資源循環事業	2,116	1,166	▲950	▲44.9%	58.8%
グローバルトレーディング事業	578	225	▲352	▲61.0%	11.4%
リチウムイオン電池リサイクル事業	249	496	246	99.1%	25.0%
その他	124	94	▲29	▲23.8%	4.8%
調整額	▲301	▲473	▲171	-	-

(単位：百万円)

		2022年6月期 第3四半期累計	2023年6月期 第3四半期累計			
		実績	実績	前年同期比		構成比
				増減額	増減率	
資源循環事業	売上高	15,022	13,226	▲1,795	▲12.0%	33.2%
	セグメント利益	2,116	1,166	▲950	▲44.9%	58.8%
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金属スクラップの発生量は減少するも、積極的な営業活動により取扱量は前年同期並み ■ 発生量の減少に伴う仕入環境の悪化による収益性の低下 ■ エネルギー価格上昇による電力費の増加、待遇改善等による人件費の増加 ■ 新工場建設が進捗（静岡県富士市、2022年9月竣工、2023年2月一部稼働） 					
グローバル トレーディング事業	売上高	29,977	24,876	▲5,100	▲17.0%	62.6%
	セグメント利益	578	225	▲352	▲61.0%	11.4%
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 世界的な粗鋼生産量の減少による、鉄スクラップ海外需要の低下 ■ 国内高海外安の展開により内外価格差が縮小、収益性が低下し取扱量は減少 ■ 急激な円高に伴う為替差損の発生 ■ コンテナ等の海上運賃の急落による輸送環境の改善、物流代行サービスが収益に貢献 					

(単位：百万円)

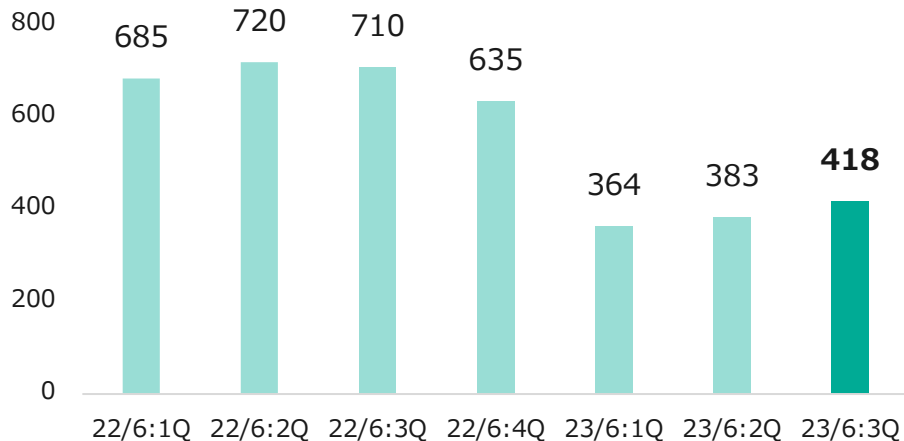
		2022年6月期 第3四半期累計	2023年6月期 第3四半期累計			
		実績	実績	前年同期比		構成比
				増減額	増減率	
リチウムイオン電池 リサイクル事業	売上高	785	1,301	516	65.7%	3.3%
	セグメント利益	249	496	246	99.1%	25.0%
						<ul style="list-style-type: none"> ■ 電池材料の需給緩和によりコバルト、リチウム価格は下落も、先売り契約により収益性を確保 ■ 設備稼働率の改善により生産性が向上し、取扱量が増加 ■ 新工場が2022年10月に稼働（静岡県富士市） ■ 2024年4月稼働目標に新工場用土地・建物を取得（茨城県ひたちなか市）
その他	売上高	367	353	▲13	▲3.8%	0.9%
	セグメント利益	124	94	▲29	▲23.8%	4.8%
						<p>《環境経営コンサルティング事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ CDP、TCFD対応支援等のカーボンニュートラル及びサーキュラーエコノミー関連コンサルティングの需要増加に伴う体制強化が進捗 <p>《障がい福祉サービス事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 長野エリアに新たな事業所を開設し、農福連携による新たなサービスの開始

決算概要▶セグメント利益四半期推移

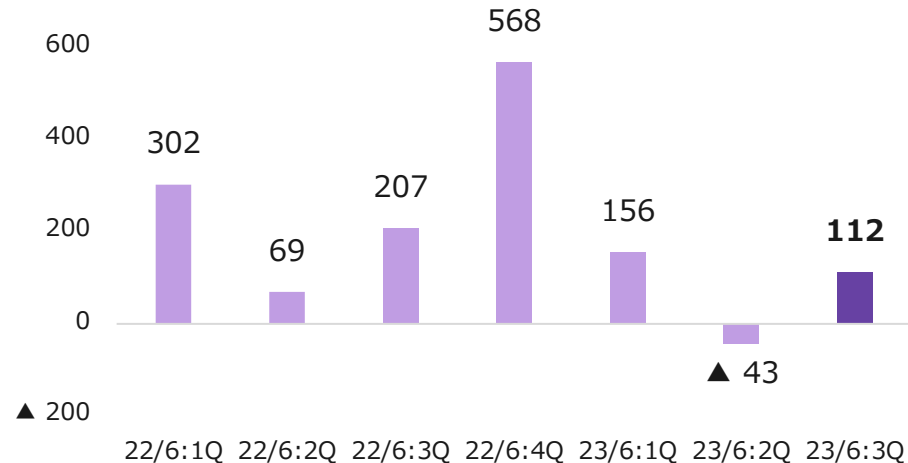


(単位：百万円)

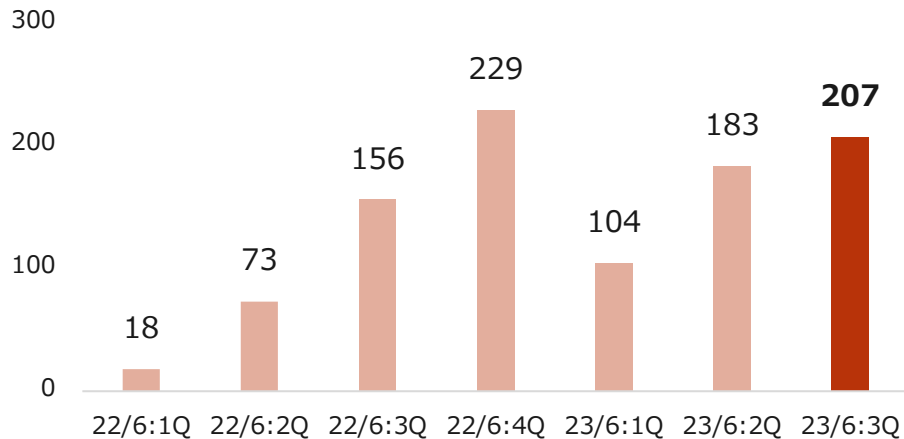
資源循環事業



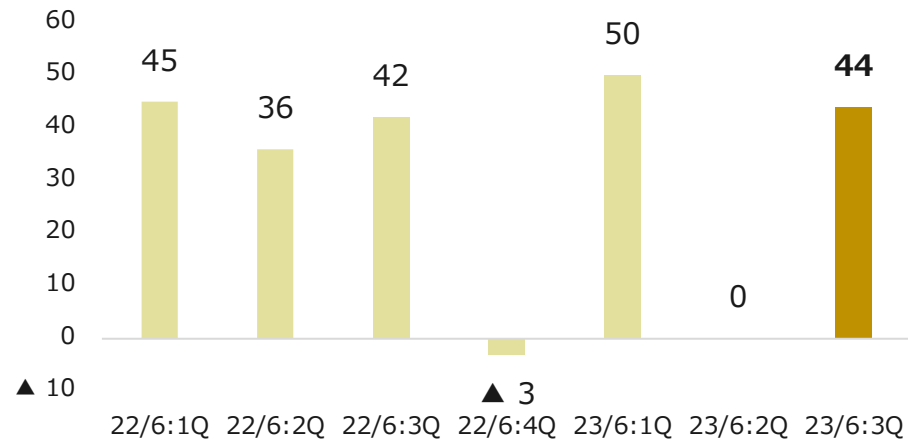
グローバルトレーディング事業



リチウムイオン電池リサイクル事業



その他



(単位：百万円)

	2022年 6月末	2023年 3月末	増減額		2022年 6月末	2023年 3月末	増減額
流動資産	18,448	21,399	2,951	流動負債	9,968	14,043	4,075
固定資産	10,515	14,453	3,938	固定負債	2,776	4,943	2,167
（有形固定資産）	7,161	10,632	3,471	負債合計	12,744	18,987	6,243
（無形固定資産）	96	139	43	純資産	16,219	16,865	645
（投資その他の資産）	3,257	3,680	423	（自己資本）	15,808	16,121	312
資産合計	28,963	35,852	6,889	負債純資産合計	28,963	35,852	6,889

主要TOPICS（前期末比）

- 資産、負債項目の主な増加要因は3Q期間における日東化工株式会社の連結子会社化
- 流動資産（その他流動資産1,559百万円、商品及び製品1,209百万円、受取手形及び売掛金959百万円、現金及び預金▲897百万円）
- 固定資産（建物及び構築物1,693百万円、土地1,149百万円、機械装置及び運搬具1,057百万円、投資有価証券449百万円、建設仮勘定▲522百万円）
- 流動負債（その他流動負債1,693百万円、短期借入金1,530百万円、支払手形及び買掛金1,301百万円、未払法人税等▲600百万円）
- 固定負債（長期借入金1,585百万円、退職給付に係る負債495百万円）
- 自己資本比率 45.0%（2022年6月末 54.6%）

目次

1. 第3四半期 決算概要
- 2. 2023年6月期 見通し**
3. 参考資料

連結業績予想

売上高	50,000百万円	(前期比 12.8%減)
営業利益	1,900百万円	(前期比 43.2%減)
経常利益	2,200百万円	(前期比 47.2%減)
当期純利益*	1,400百万円	(前期比 55.0%減)

業績予想の前提条件

鉄スクラップ	電気銅	金	銀	ニッケル	コバルト	為替
45,000円/ t	1,050円/kg	7,000円/g	85,000円/kg	3,300円/kg	4,800円/kg	125円/USD

TOPICS

- 中国の景気減速、欧州のエネルギー危機等、先行き不透明な状況が継続
- 上期の海外景気減速懸念による金属スクラップの輸出需要減少により取扱量は減少
- エネルギー価格等の高騰による費用増加、2Q後半の急激な円高により為替差損が発生
- 廃自動車等の金属スクラップの発生量回復が停滞も、製造業等は回復傾向
- 脱炭素を背景にリサイクル原料活用への評価の高まりは継続、資源価格の維持を予想
- リチウムイオン電池リサイクル事業の関東エリアBM*新工場の計画が進捗
- 資源循環事業：新工場の一部設備が2023年2月稼働、順次設備設置し能力拡大予定
- 日東化工株式会社の連結子会社化（3Q期間にB/Sのみ連結、4Q期間にP/Lを連結）

*当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

*BM（ブラックマス）：リチウムイオン電池を放電・乾燥・破碎・選別したリチウム、コバルト、ニッケルの濃縮滓

見通し▶2023年6月期 連結業績



(単位：百万円)

	2022年6月期 実績	2023年6月期				
		予想	前期比		第3四半期累計	
			増減額	増減率	実績	進捗率
取扱量 (千 t)	706	670	▲36	▲5.2%	452	67.5%
売上高	57,319	50,000	▲7,319	▲12.8%	35,363	70.7%
売上総利益	10,628	9,276	▲1,351	▲12.7%	6,330	68.2%
営業利益	3,343	1,900	▲1,443	▲43.2%	1,228	64.7%
経常利益	4,166	2,200	▲1,966	▲47.2%	1,509	68.6%
税金等調整前当期純利益	4,176	2,050	▲2,126	▲50.9%	1,470	71.7%
当期純利益*	3,111	1,400	▲1,711	▲55.0%	1,017	72.6%
限界利益*	9,968	9,257	▲711	▲7.1%	6,228	67.3%
EBITDA*	4,042	2,875	▲1,166	▲28.9%	1,855	64.5%
純粋固定費*	6,325	7,428	1,102	17.4%	5,093	68.6%
ROE	21.6%	8.7%	▲12.9%	▲59.8%	—	—

*当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

*限界利益 = 売上高 - 変動費

*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

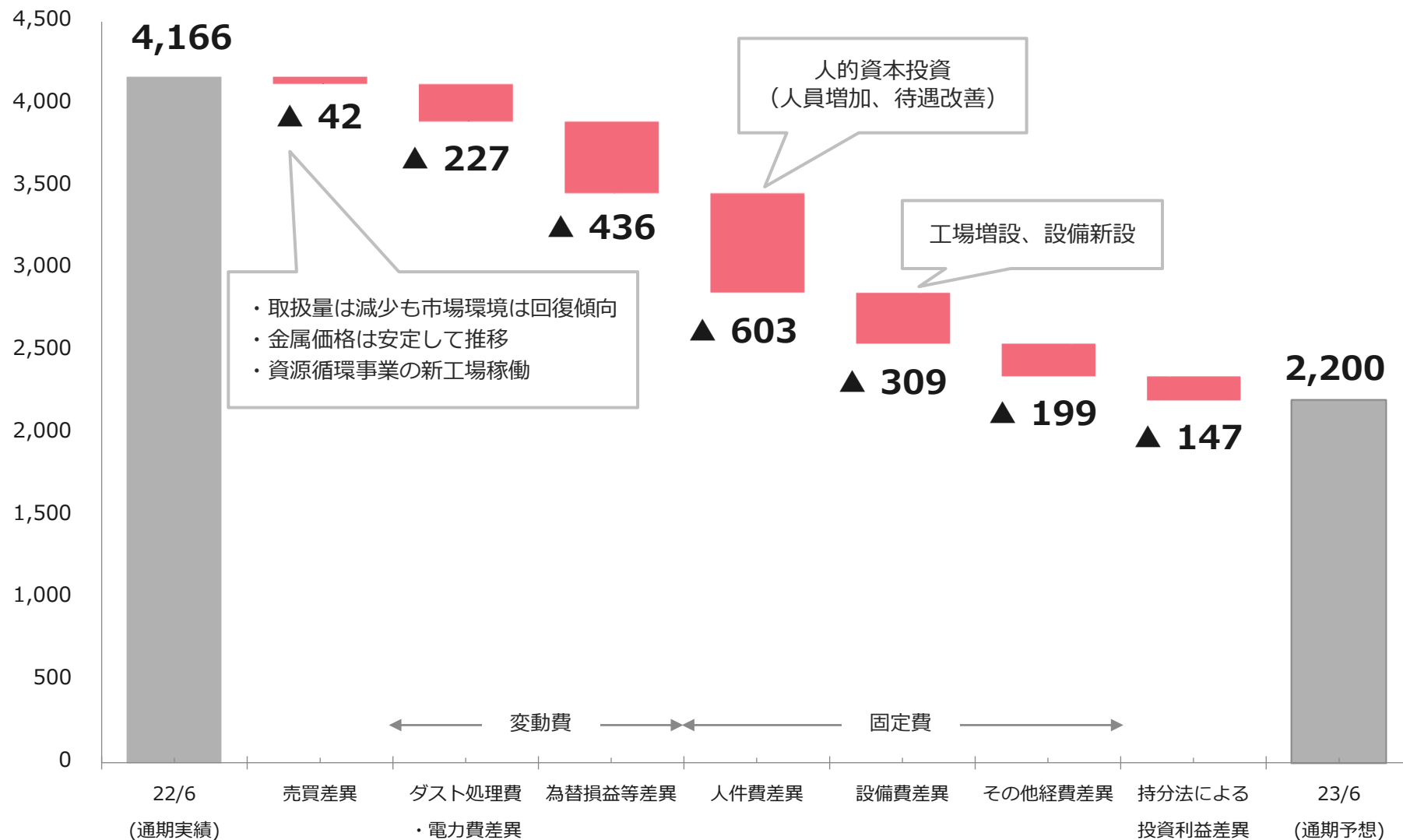
*純粋固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

*日東化工株式会社の連結子会社化により4Q期間にP/Lを連結

見通し▶連結経常利益差異分析（前期比）



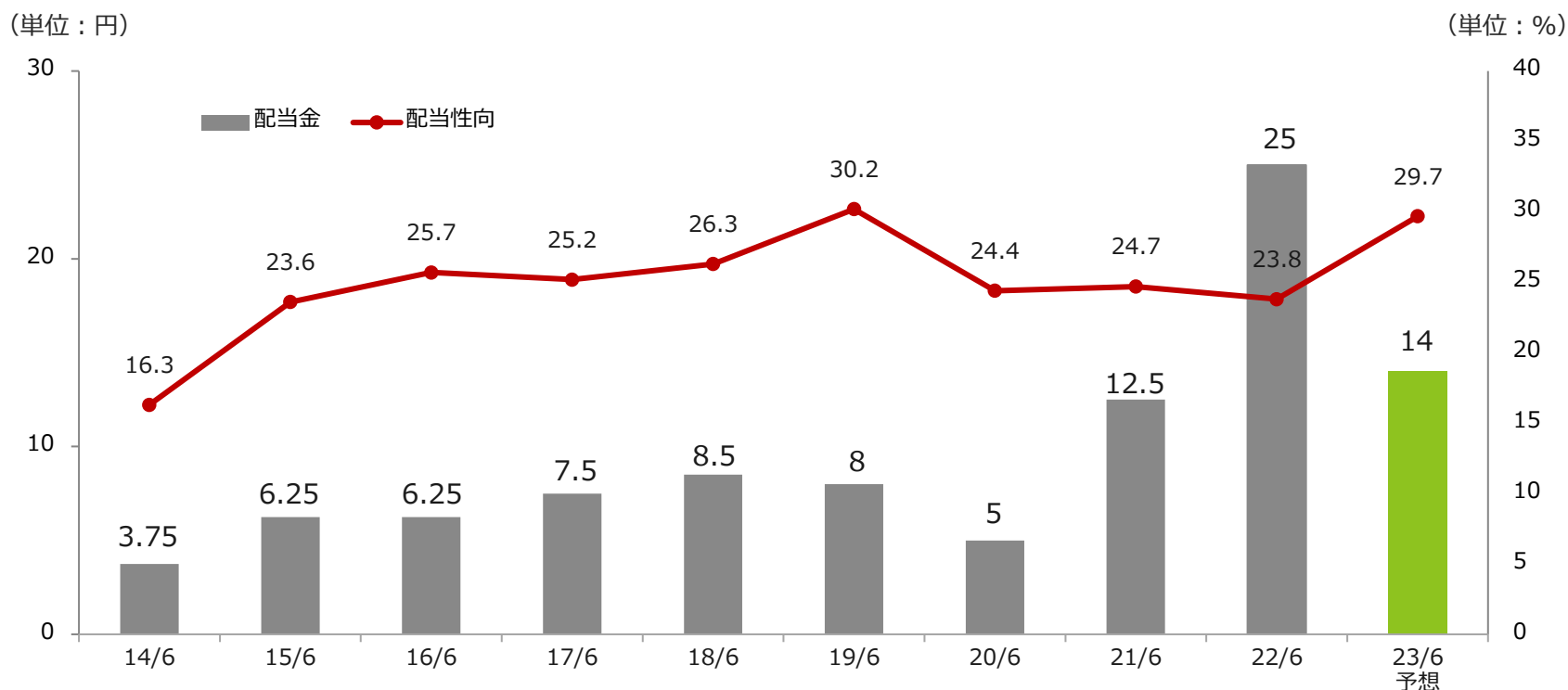
(単位：百万円)



*日東化工株式会社の連結子会社化により4Q期間にP/Lを連結

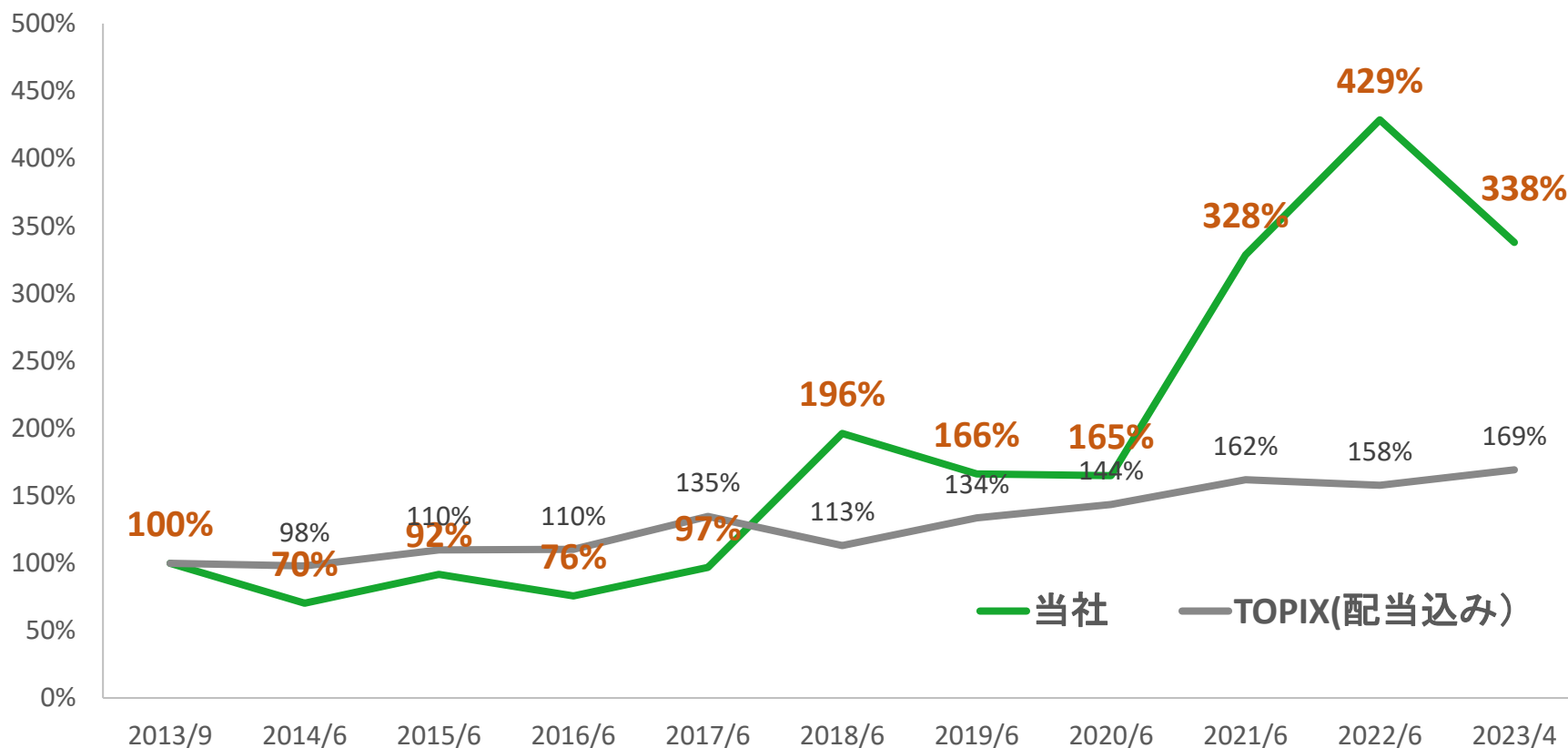
当社の配当基本方針

- 内部留保等を総合的に勘案しながら長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針とする。
- 業績連動利益配分の指標として連結配当性向 20～30%を目標とする。
- 連結配当性向に基づく配当金が年間5円を下回る場合にも、年間5円の安定配当を目指す。



*2018年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。
 2022年4月20日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。
 1株当たり配当金は2014年6月期以前から上記の株式分割が行われたと仮定して算定しています。

見通し▶上場以降の株主総利回り（TSR）推移



	2013年 9月25日 終値	2014年 6月末	2015年 6月末	2016年 6月末	2017年 6月末	2018年 6月末	2019年 6月末	2020年 6月末	2021年 6月末	2022年 6月末	2023年 4月末 (概算)
株価	204	140	178	139	174	369	300	292	614	794	594
1株配当金	-	3.75	6.25	6.25	7.5	8.5	8	5	12.5	25	14

*2013年9月25日終値を100とする

*2023年4月末（概算）の株価は2023年4月28日当社株価終値、1株配当金は当期配当予想

*2023年4月のTOPIX（配当込み）変動率は基礎数値に3月時点の数値を使用して算出

目次

1. 第3四半期 決算概要
 2. 2023年6月期 見通し
 - 3. 参考資料**
-

企業結合の概要

被取得企業の名称及び その事業内容	被取得企業の名称：日東化工株式会社 事業内容：ゴム製品、樹脂製品の製造・販売
所在地	神奈川県高座郡寒川町一之宮六丁目1番3号
企業結合日	2023年4月4日(みなし取得日 2023年3月31日)
取得した議決権比率	83.71%
被取得企業の取得原価	1,573,929千円
発生したのれんの金額	発生なし

*日東化工株式会社（証券コード 5104）に対する公開買付けの結果及び子会社（特定子会社）の異動に関するお知らせ（2023年3月29日公表）より一部抜粋

今後の流れ

- 日東化工において臨時株主総会を開催し、株式併合、及び株式併合の効力発生を条件として単元株式数の定めを廃止する旨の定款の一部変更を実施
- 株式併合の実施により、上場廃止基準に該当するため2023年6月19日に上場廃止を予定
- 2023年6月21日を効力発生日として、当社のみを株主とするための株式併合を実施予定（日東化工が所有する自己株式の消却含む）

東洋ゴムチップの破碎選別工程と日東化工のコンパウンド、および成形工程を組み合わせ、
タイヤ to タイヤ*を中心に、ゴムのマテリアルリサイクルを強力に推進する

1 ゴムのサーキュラーエコノミー実現に向けた相乗効果

- ・サーキュラーエコノミー製品*群の拡充と販路の拡大
- ・タイヤ to タイヤ事業スキームの実現
- ・関東圏での自動車部品等ゴムメーカーへのアクセス能力を向上

2 統合に伴う経営効率化

- ・ゴム製品サプライチェーンの内製化率向上
- ・統合による取扱量および生産能力の向上
- ・対象会社の上場廃止による諸経費の軽減

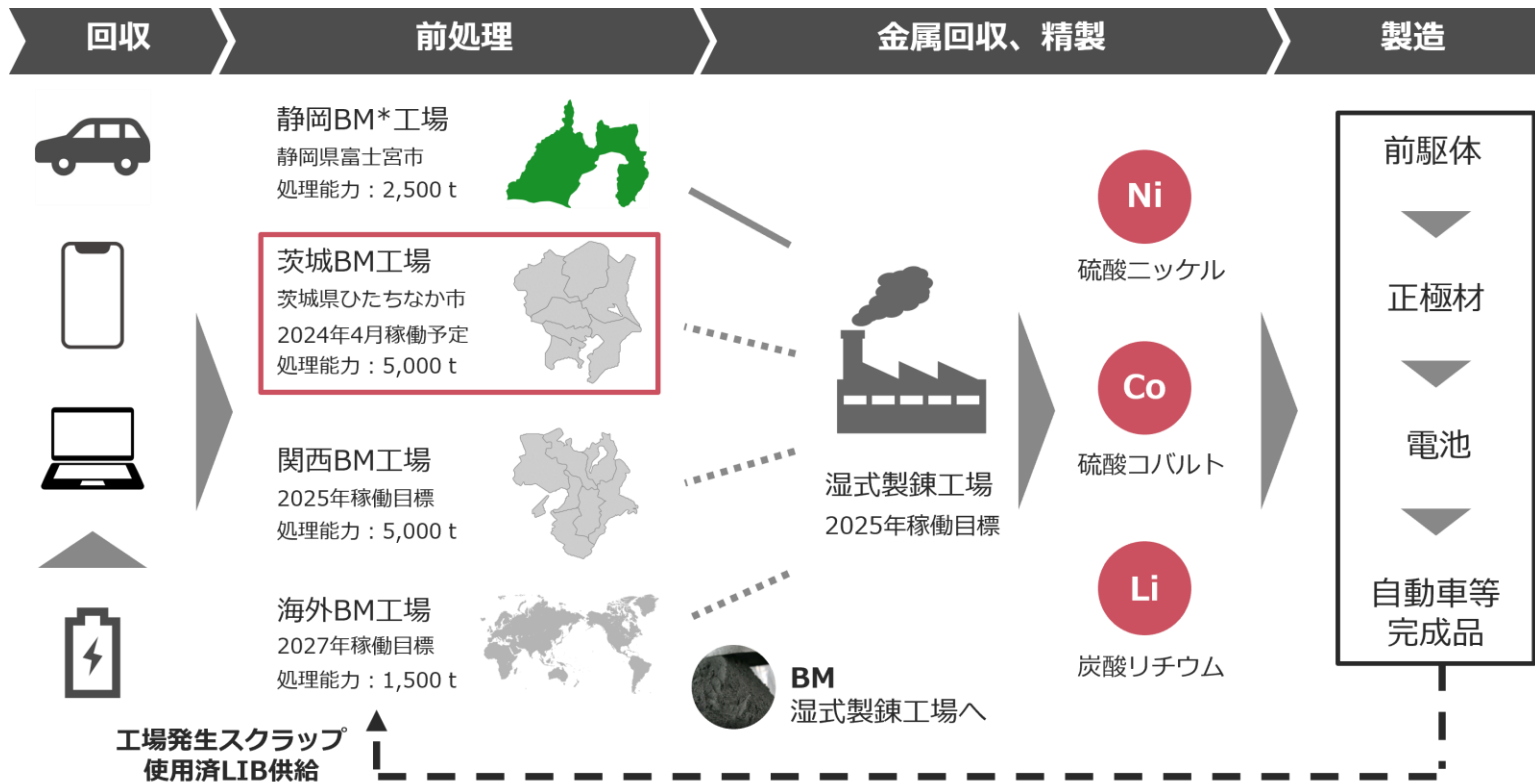
3 営業網、販売網の拡大

- ・両社の顧客接点を活用した販売力の強化
- ・当社グローバルネットワークを活用した対象会社製品の新商流開拓
- ・弾性舗装工事に係る営業機能の統合による広域案件、大規模案件への参入

*タイヤ to タイヤ：当社の造語。廃タイヤを再生ゴム原料に加工し、再びタイヤを製造すること

*サーキュラーエコノミー製品：当社の造語。廃棄物から再資源化した原料で作られた製品のこと

茨城県ひたちなか市に工場を新設し、既存3倍の処理能力を目指す



*LIBリサイクル工場用地・建物の取得に関するお知らせ（2023年3月27日公表）より一部抜粋

LIB to LIB実現に向けた今後の注力ポイント

- 2024年4月茨城BM工場稼働、2025年中に関西BM工場稼働目標、2027年中に海外BM工場稼働目標とする
- 現状より環境負荷が少ない生産プロセスで、現状より不純物が少ないBM製造を実現する
- LIBからの電解液回収とBMからのグラファイト回収を研究していく

*LIB：リチウムイオン電池の略称

*BM（ブラックマス）：リチウムイオン電池を放電・乾燥・破碎・選別したリチウム、コバルト、ニッケルの濃縮滓

1 焼却灰リサイクル（未利用の貴金属、最終処分場逼迫への対応）

- ・ 落じん灰からの金銀滓回収のシェア拡大（2028年120ヶ所の自治体＝シェア30%）
- ・ 主灰からの金銀滓回収と主灰の資源化

2 CEコンサル&ソリューション（一般消費財メーカーのScope3への対応）

- ・ 大手企業の製品サーキュラーエコノミーモデル（回収物流・再生産）の構築
- ・ デジタル製品パスポート(DX)への対応

3 地域共生型リサイクル拠点の展開（廃プラ新法への対応）

- ・ 「プラザあづみ野*モデル（長野県安曇野市）」の横展開
- ・ 自治体と連携した容リプラ、製品プラ回収モデルの構築とケミカルリサイクルへの挑戦

4 全国広域の片付け・解体工事（脱炭素解体への対応）

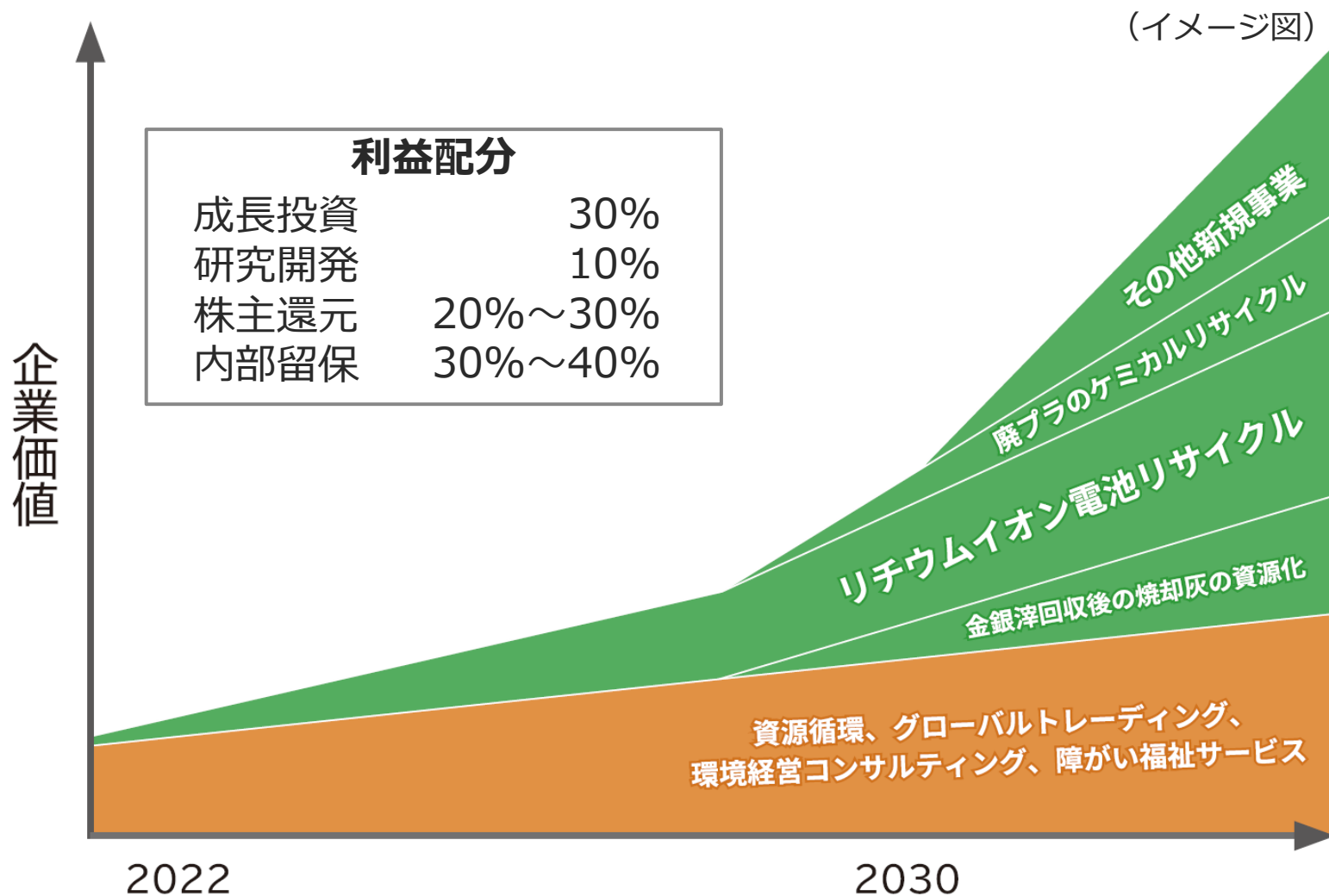
- ・ 協力会社のネットワーク整備（金融機関、施工会社、リサイクル会社等）
- ・ 安全、技術、人的レベルの向上

5 海外拠点の拡充（国際資源循環への対応）

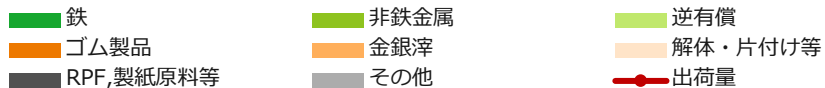
- ・ 欧州法人設立（2023年）
- ・ 海外BM工場の稼働(2027年)

*プラザあづみ野：当グループしんえこの地域共生型リサイクル拠点のこと

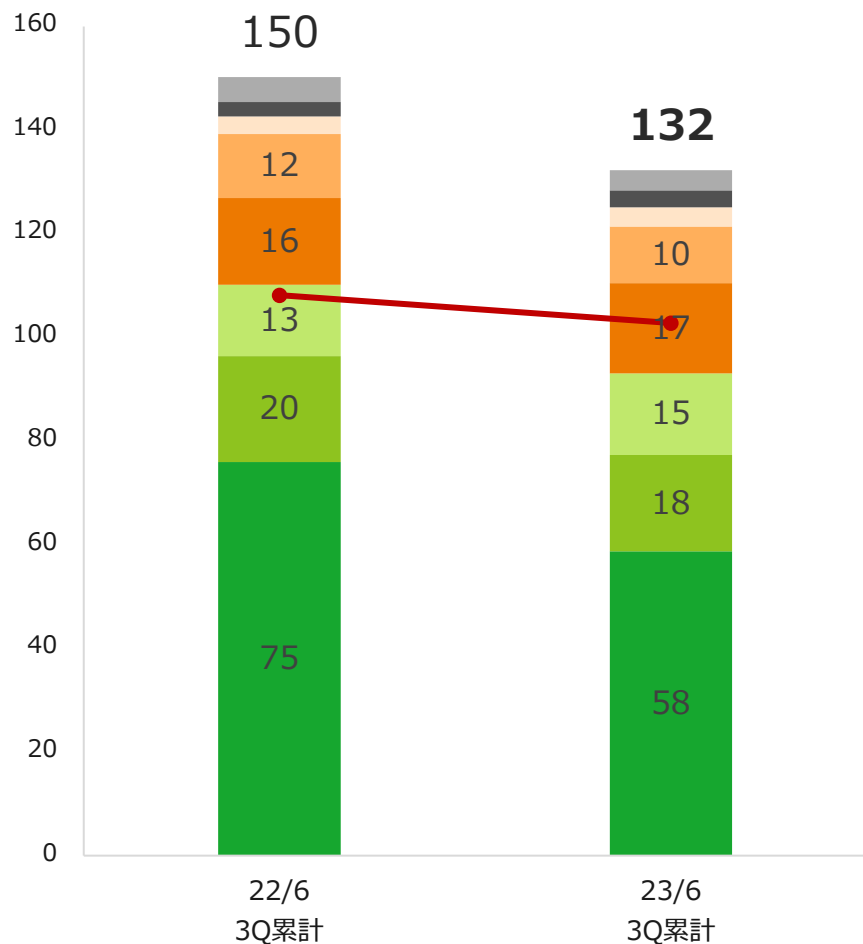
既存事業の深化または撤退、成長分野への積極的投資及び新規事業の探索で
事業ポートフォリオを最適化する



資源循環事業 品種別売上高・合計取扱量



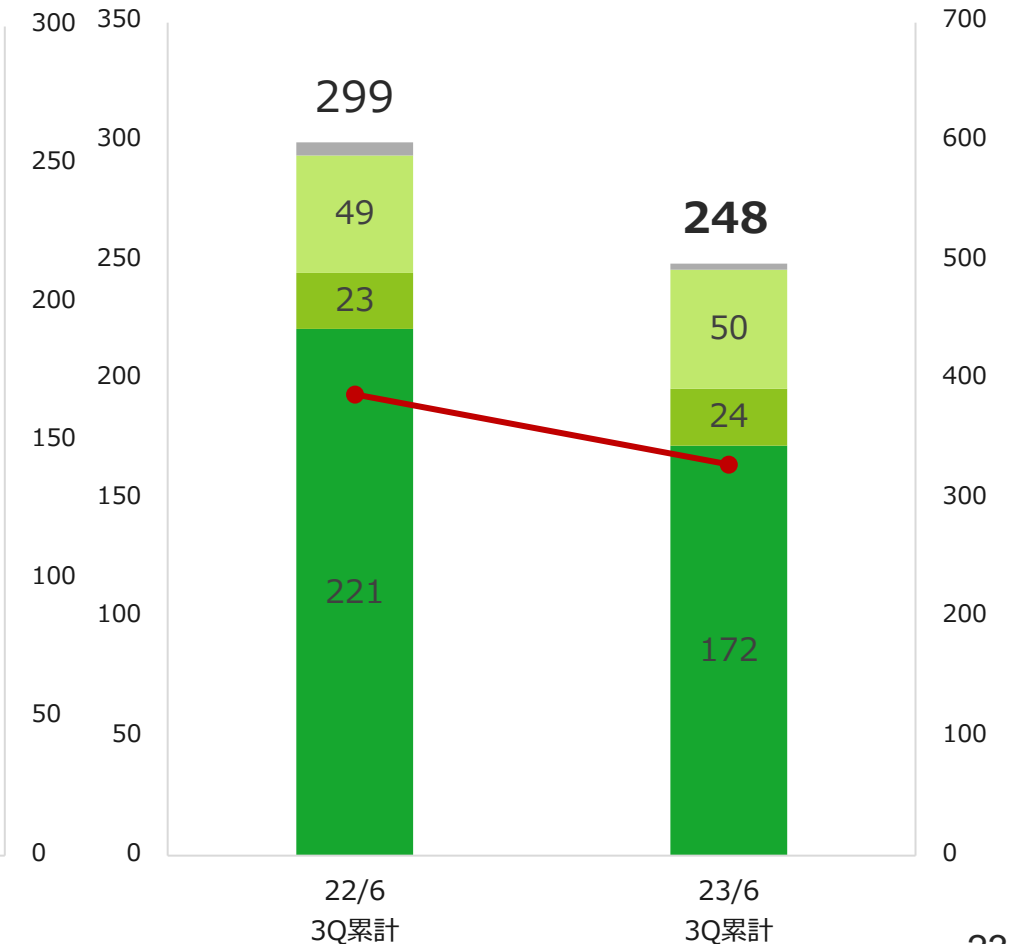
(単位：億円)



グローバルトレーディング事業 品種別売上高・合計取扱量



(単位：千 t) (単位：億円)



品種別取扱量

(単位：千 t)

品目	2022年 6月期 3Q累計	2023年 6月期 3Q累計	前年同期比
鉄	424	366	▲13.8%
非鉄金属	14	14	1.6%
金銀滓*	2	2	▲1.7%
ゴム製品	10	11	1.9%
RPF等燃料、製紙原料等	41	40	▲3.7%
ブラックマス等*	0.6	0.7	30.8%
その他	19	17	▲13.2%
合計	514	452	▲12.1%

(単位：k g)

品目	2022年 6月期 3Q累計	2023年 6月期 3Q累計	前年同期比
金回収量	47	33	▲29.5%
銀回収量	811	621	▲23.4%

地域別売上高

(単位：億円)

地域	2022年 6月期 3Q累計	2023年 6月期 3Q累計	前年同期比	
日本	213	187	▲12.2%	
東アジア	韓国	90	66	▲25.9%
	台湾	2	6	128.2%
	その他	5	9	72.7%
	東南アジア	ベトナム	66	47
	その他	6	15	120.0%
南アジア	インド他	4	3	▲32.1%
西アジア	UAE他	6	6	9.7%
南米	チリ他	6	7	7.5%
アフリカ	ケニア他	1	0	▲57.3%
その他	—	1	2	86.5%
合計	406	353	▲12.9%	

*金銀滓：金、銀、銅、プラチナ、パラジウムの混合物

*ブラックマス：リチウムイオン電池を放電・乾燥・破碎・選別したリチウム、コバルト、ニッケルの濃縮滓

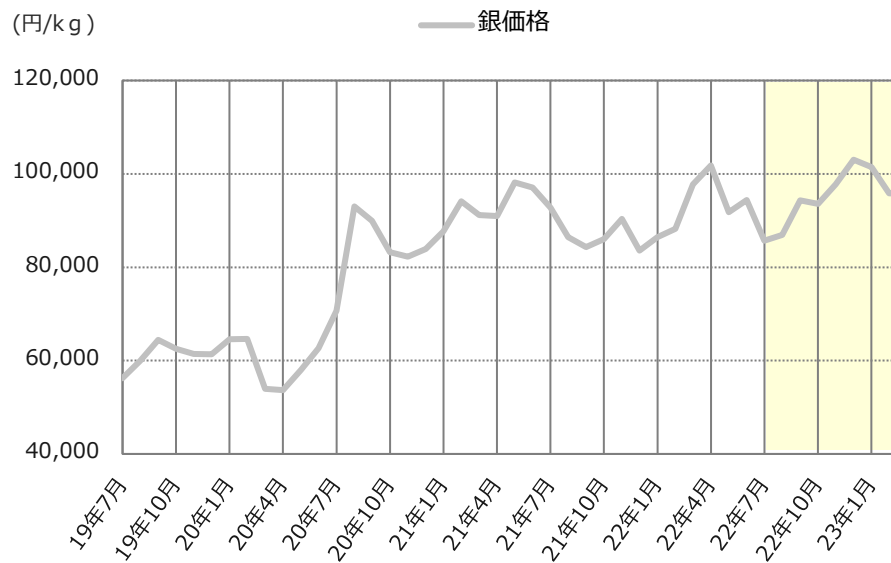
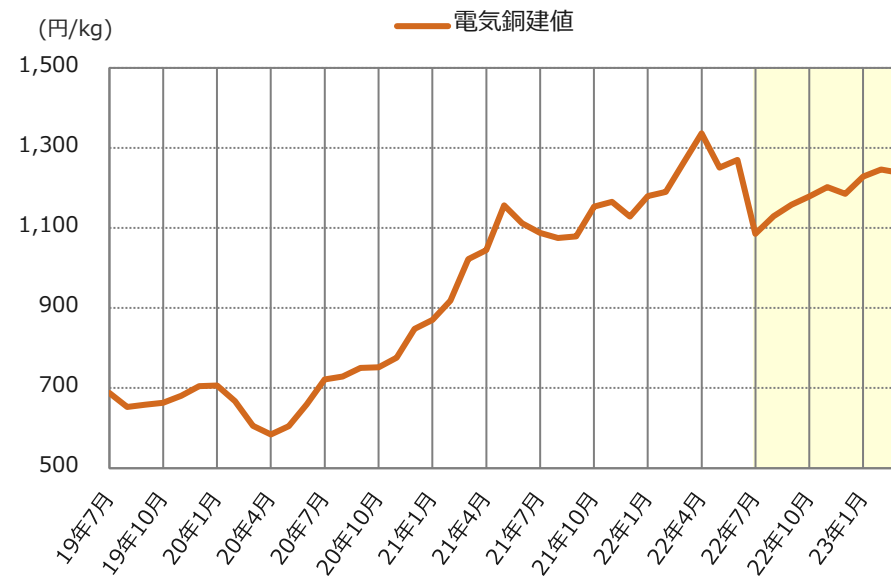
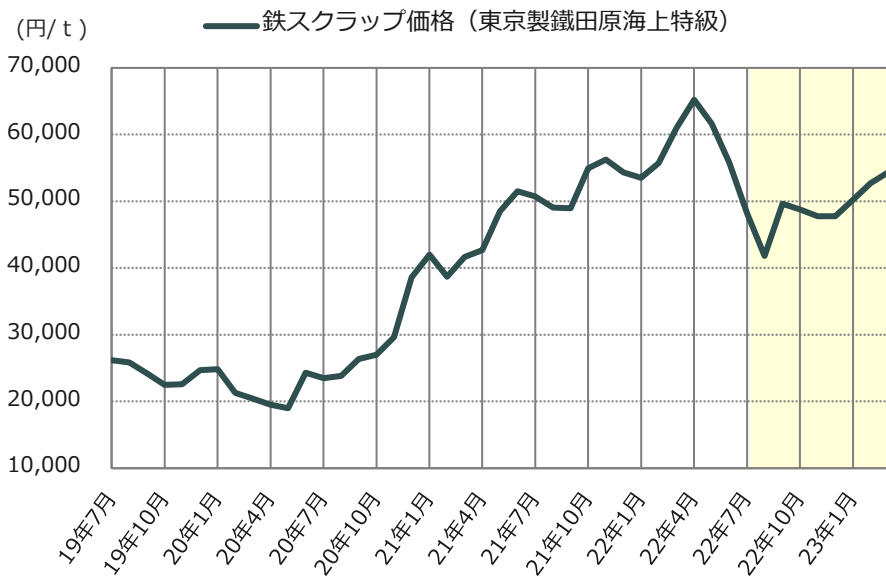
参考資料▶セグメント別四半期業績推移

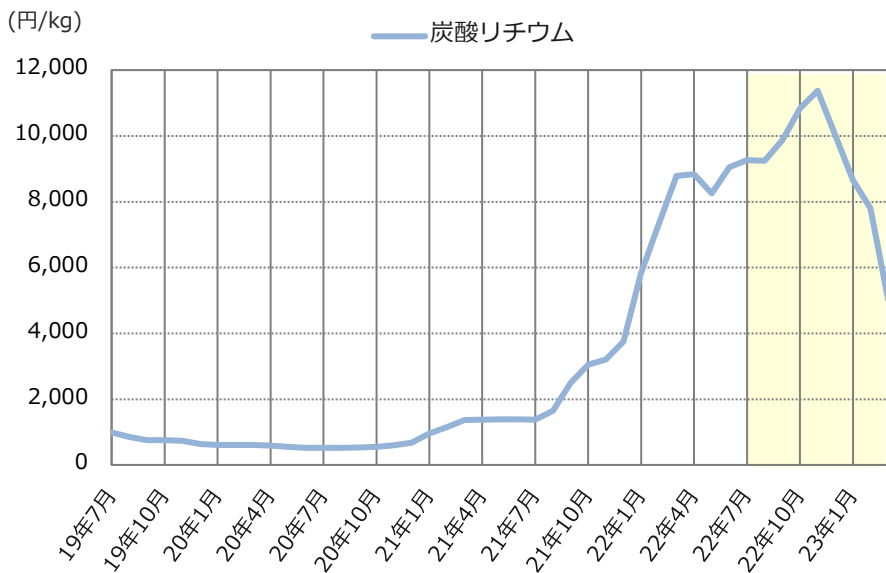
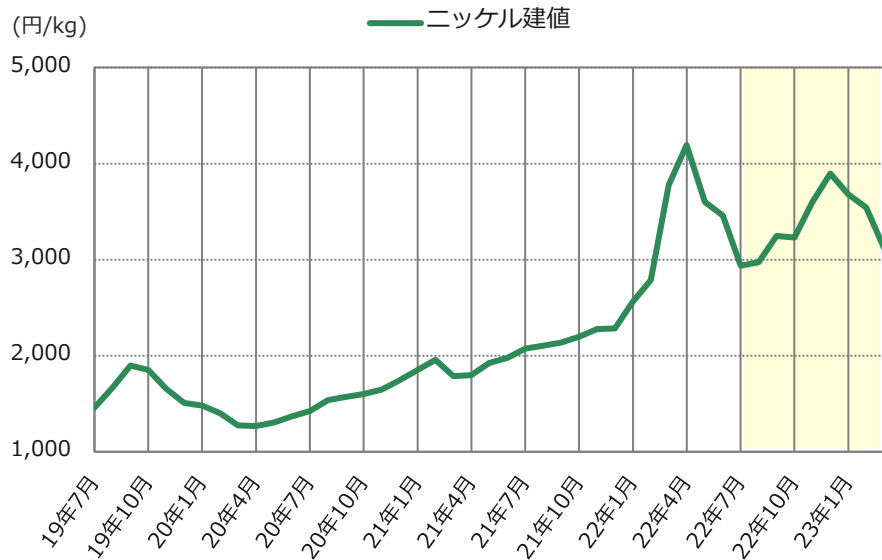


(単位：百万円)

セグメント	2022年6月期						2023年6月期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	構成比	1Q	2Q	3Q	3Q累計	構成比	
資源循環事業	取扱量	71	66	68	67	274	-	64	65	64	194	-
	売上高	4,762	5,129	5,130	5,374	20,397	31.3%	4,179	4,349	4,697	13,226	33.2%
	経常利益	685	720	710	635	2,752	61.2%	364	383	418	1,166	58.8%
	経常利益率	14.4%	14.0%	13.9%	11.8%	13.5%	-	8.7%	8.8%	8.9%	8.8%	-
グローバル トレーディング事業	取扱量	150	111	128	147	537	-	99	117	111	328	-
	売上高	11,109	9,123	9,743	13,012	42,989	65.9%	7,872	8,958	8,045	24,876	62.6%
	経常利益	302	69	207	568	1,147	25.5%	156	▲43	112	225	11.4%
	経常利益率	2.7%	0.8%	2.1%	4.4%	2.7%	-	2.0%	▲0.5%	1.4%	0.9%	-
リチウムイオン電池 リサイクル事業	売上高	147	229	409	561	1,347	2.1%	326	448	525	1,301	3.3%
	経常利益	18	73	156	229	478	10.6%	104	183	207	496	25.0%
	経常利益率	12.9%	32.2%	38.3%	40.8%	35.5%	-	32.0%	41.0%	39.5%	38.1%	-
その他	売上高	127	116	123	75	443	0.7%	135	87	131	353	0.9%
	経常利益	45	36	42	▲3	120	2.7%	50	▲0	44	94	4.8%
	経常利益率	35.9%	30.9%	34.5%	▲4.6%	27.3%	-	37.7%	▲0.4%	33.6%	26.8%	-
調整額	売上高	▲1,853	▲1,649	▲2,034	▲2,320	▲7,857	-	▲1,340	▲1,435	▲1,619	▲4,395	-
	経常利益	▲130	▲60	▲110	▲30	▲332	-	▲107	▲77	▲287	▲473	-
連結	取扱量	188	157	168	192	706	-	141	160	150	452	-
	売上高	14,292	12,950	13,372	16,703	57,319	-	11,174	12,408	11,781	35,363	-
	経常利益	921	838	1,007	1,399	4,166	-	569	445	494	1,509	-
	経常利益率	6.4%	6.5%	7.5%	8.4%	7.3%	-	5.1%	3.6%	4.2%	4.3%	-

*セグメント利益は経常利益で記載をしております。





本資料に関する注意事項

本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。



本資料及びIRに関するお問い合わせ先

株式会社エンビプロ・ホールディングス
経営企画部

TEL (0544) 21-3160

URL <https://www.envipro.jp/>